

健康ワンポイントアドバイス

発行：十日町市中魚沼郡医師会

発行日：平成28年1月発行

第164号



発達相談外来やってま〜す！！

医) たかき医院 産婦人科 仲 栄美子 先生

「うちの子って周りの子と少し違っている気がするんだけど大丈夫かしら、、、」

1

子育て中のお母さんは、常にそんな心配がありますよね。他の子に比べて劣っているのではないか、友達となじめずにいるのではないかと。

風邪や予防接種で来院する中に、落ち着きがない、独り言を言い続けている、言葉が遅い等が気になる子供たちがおり、年々増えてきているような感じを受けたため、当院では平成26年11月より毎週木曜日に「発達相談外来」を設けています。

「子供が日常生活の中でこういうことに困っています。」というお母さんや先生方の相談に乗り、今のままでは「生きにくい」と悩んでいる子供たちをいかに支援できるか、家庭や地域、園・学校での対応などについて指導をしています。

中には発達障害といわれる、自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動性障害（ADHD）、学習障害（LD）という診断名のつくお子さんもおります。このようなお子さんにはご両親の学び、病院で必要な投薬、専門の施設での様々な技能訓練を受ける、教育環境などを含めた支援が大切になってきます。

発達障害は、生まれつきの脳の発達の違いのために症状が出るといわれていますが、地域的、家族的、教育的、心理的、そして本人の生物学的な要因なども絡み合っ問題が表面化してきます。どれだけ早いうちに周りの大人たちが子供の困り感に気づき、支援できるかによって発達障害が一時的なつまづきで改善されるのか、不登校や引きこもりに陥ったり、「一生のハンディキャップ」として残ってしまうのかが決まるのです。

発達相談外来へはどんなささいな事でも構いません。なるべく小学校へ上がる前の早いうちにご相談ください。

十日町市・津南町で一年間に生まれてくる新しい400人の命、その一つ一つが健やかに成長していくために我々大人はもっと子供たち一人一人に目を向け、市や町のくくりを越えて同じ妻有郷として手を携えていかなければならないのではないかと考えています。

最後に、子育て中のお母さま方、子供にスマホ・ゲーム・テレビなどを与えっぱなしにしておくのは絶対にやめてください。脳の発達には全く良いことはありませんよ。

健康ワンポイントアドバイス

発行：十日町市中魚沼郡医師会

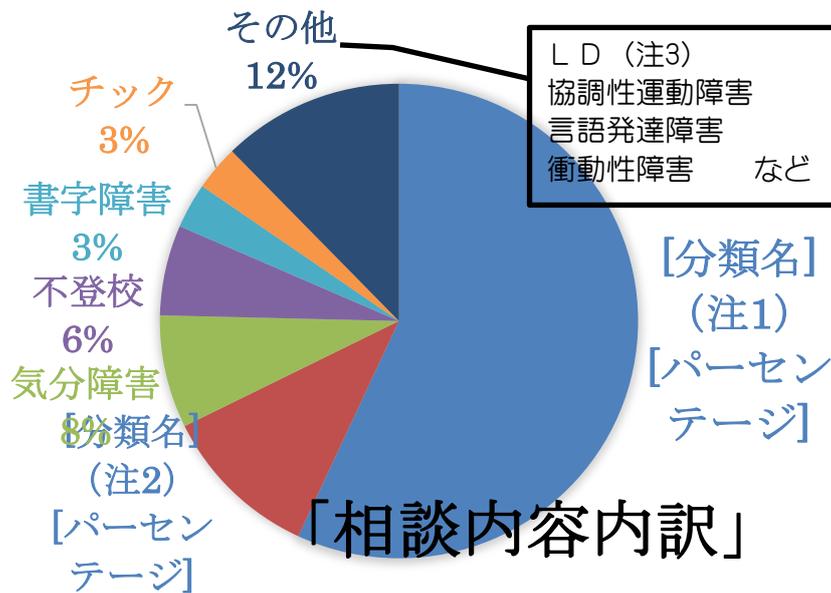
発行日：平成28年1月発行

第164号



2

「発達相談外来受診延べ人数」



注1) ADHD (注意欠如・多動性障害の略)

じっとしてられない、順番が待てない、他人の会話に割り込む、うっかりミスが多い、忘れ物や紛失が多い、やるべきことを最後までやり遂げられない、などが特徴。

注2) 人の目を見ない、一人遊びが多く集団行動が苦手、自分の興味のあることには何時間でも熱中する、予定の突然の変更に対応できない、などが特徴。

注3) LD (学習障害)

知的発達は問題ないのに読む、書く、計算するなど特定のことが難しく学業成績に影響が出る状態。